



2021年11月8日

各位

会社名 ヒューマンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 朋也
(JASDAQ・コード2415)
問合せ先 取締役経営企画担当 佐藤 安博
(TEL:03-6846-8002)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期 通期連結累計期間の業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期 通期連結累計期間の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 88,167 | 2,265 | 2,324 | 1,286 | 118.25 |
| 今回修正予想 (B) | 87,082 | 2,804 | 2,939 | 1,705 | 156.81 |
| 増減額 (B-A) | △1,084 | 538 | 614 | 419 | — |
| 増減率 (%) | △1.2 | 23.8 | 26.4 | 32.6 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 85,811 | 2,702 | 3,253 | 1,439 | 132.36 |

2. 業績予想修正の理由

今後の経済の見通しにつきましては、政府によるワクチン接種の推進などにより、持ち直しの動きが期待されますが、第6波による感染再拡大が懸念されるなど、予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響は次年度以降も継続すると想定しており、人材関連事業における求人数や、教育事業における通学講座の契約数、介護事業における施設利用者、スポーツ事業におけるプロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」のチケット販売数、ネイルサロン運営事業における店舗の休業・時短営業に伴う顧客数などへの影響が想定されます。

また、入国制限により、人材関連事業における海外ITエンジニアの採用数や、教育事業における日本語学校への在籍者数、介護事業における介護職種の外国人技能実習生向け研修センターの利用者数などへの影響が想定されます。

このような状況を踏まえ、2022年3月期の連結業績予想につきましては、当社グループにおいて新型コロナウイルス感染症の影響は継続するものの、感染防止策を施しながら各事業が継続していくこと、入国

制限の影響が本年度中は継続することなどを前提として算定いたしました。

これらの前提のもと、2022年3月期の連結業績予想を算定した結果、入国制限の解除時期が前回発表予想より長期化すると前提条件を見直したことから、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりましたが、人材関連事業において、新型コロナウイルス感染症による求人数への影響が想定よりも回復基調にあることなどから、営業利益および経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | |
|--------------------------|--------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回発表予想 | — | 24.00 | 24.00 |
| 今回修正予想 | — | 31.50 | 31.50 |
| 当期実績 | 0.00 | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 0.00 | 26.50 | 26.50 |

4. 配当予想修正の理由

2022年3月期の配当予想につきましては、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することとして、連結配当性向の目標を20%とする方針のもと、上記の業績予想を踏まえ修正いたしました。

なお、本件につきましては、2022年6月開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

※ 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上